



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 フルサト工業株式会社
 コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤井 武嗣

TEL 06-6946-9605

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,921	4.1	358	3.7	440	1.1	255	13.3
29年3月期第1四半期	21,050	1.7	372	35.2	445	32.8	294	27.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 359百万円 (124.7%) 29年3月期第1四半期 159百万円 (71.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.62	
29年3月期第1四半期	20.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	58,359	36,758	63.0	2,535.57
29年3月期	60,046	37,030	61.7	2,554.28

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 36,758百万円 29年3月期 37,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		43.50	48.50
30年3月期					
30年3月期(予想)		5.00		43.50	48.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	4.4	1,340	5.7	1,480	5.5	900	2.0	62.08
通期	97,600	3.7	3,280	3.7	3,590	4.2	2,340	0.2	161.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,574,366 株	29年3月期	14,574,366 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	77,133 株	29年3月期	76,992 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,497,334 株	29年3月期1Q	14,497,951 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本国経済は、海外経済の不確実性の高まり等に懸念はあるものの、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな景気回復基調が継続しました。

このような状況のなか、当社グループは当連結会計年度を初年度とする中期経営計画『Design the Future 2020』において、「本当の価値の提供」をテーマに、生産性の向上、ロボット事業における専門性の追求、セキュリティサービスにおける新たなシナジーの創生、働きがいのある充実した職場環境改革など、グループ戦略上の新たな取り組みを実施しております。

売上高は、建築配管資材事業の増収等により、前年同期比4.1%増の219億2千1百万円となりました。売上総利益は鉄骨建築資材製品の利益率改善等により同5.2%の増益となりましたが、(株)ジーネット名古屋支社及び名流センターの建替決定に伴う追加償却処理による減価償却費の増加等で販売費及び一般管理費が同6.6%増となったことにより、営業利益は同3.7%減の3億5千8百万円となりました。経常利益は同1.1%減の4億4千万円、特別損失に固定資産撤去費用引当金繰入額を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は同13.3%減の2億5千5百万円となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

鉱工業生産指数の回復に伴い工業機器事業は前年同期比5.8%増加しましたが、自動車向け機械工具事業と住宅設備機器事業はそれぞれ減収となりました。その結果、当事業の売上高は同3.2%増の112億1千2百万円となりました。減価償却費を中心に販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は同32.6%減の1億3千万円となりました。

(機械・設備事業)

工作機械内需受注統計が前年同期比21.5%増となる中、当事業の受注も増加しましたが、前連結会計年度末時点の受注残が低水準であったことが影響し、売上高は前年同期比横ばいの35億8千6百万円となりました。売上総利益が利益率の低下により減益となり、販売費及び一般管理費が微増となったことにより、営業利益は同59.3%減の1千7百万円となりました。

(建築・配管資材事業)

推定鉄骨需要量が増加する中、鉄骨建築資材事業は前年同期比5.1%増となり、配管資材事業も同18.3%増となりました。その結果、当事業の売上高は同7.9%増の71億2千3百万円となりました。売上総利益は利益率の回復に伴い2桁増となり、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は同72.5%増の2億2千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億8千6百万円減少し、583億5千9百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少20億9千7百万円、商品及び製品の増加1億3千8百万円等により流動資産が19億3千8百万円減少したこと、及び有形固定資産の増加7千9百万円、投資その他の資産の増加1億7千4百万円等により固定資産が2億5千1百万円増加したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ14億1千5百万円減少し、216億円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少22億2千3百万円、電子記録債務の増加3億4百万円、未払法人税等の減少2億1千5百万円、賞与引当金の増加2億6千4百万円等により流動負債が16億6千7百万円減少したこと、及び長期借入金の増加2億円等により固定負債が2億5千2百万円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億7千1百万円減少し、367億5千8百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当により6億3千万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により2億5千5百万円増加、その他有価証券評価差額金が1億1千5百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月8日に公表いたしました平成29年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,437,850	11,430,027
受取手形及び売掛金	23,070,689	20,973,055
電子記録債権	2,951,039	2,881,775
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	3,626,586	3,765,192
仕掛品	290,112	253,313
原材料及び貯蔵品	134,468	133,648
繰延税金資産	283,360	361,171
その他	295,385	343,368
貸倒引当金	△22,189	△12,820
流動資産合計	42,267,303	40,328,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,024,440	3,918,994
機械装置及び運搬具(純額)	728,223	893,641
土地	7,203,691	7,203,691
建設仮勘定	29,788	53,427
その他(純額)	192,314	187,860
有形固定資産合計	12,178,458	12,257,615
無形固定資産	166,480	164,241
投資その他の資産		
投資有価証券	3,846,461	4,006,933
退職給付に係る資産	578,561	603,717
その他	1,096,237	1,087,396
貸倒引当金	△87,201	△89,054
投資その他の資産合計	5,434,058	5,608,992
固定資産合計	17,778,997	18,030,850
資産合計	60,046,300	58,359,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,067,049	15,843,887
電子記録債務	1,453,758	1,758,406
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	491,985	276,909
賞与引当金	578,535	843,091
役員賞与引当金	26,937	6,550
災害損失引当金	1,012	—
固定資産撤去費用引当金	35,000	63,000
その他	1,230,395	1,425,692
流動負債合計	21,984,673	20,317,537
固定負債		
長期借入金	—	200,000
繰延税金負債	831,130	876,722
退職給付に係る負債	37,104	43,600
その他	163,060	163,022
固定負債合計	1,031,295	1,283,344
負債合計	23,015,968	21,600,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,975,224
利益剰余金	24,391,455	24,016,289
自己株式	△61,138	△61,381
株主資本合計	35,537,955	35,162,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,364,070	1,479,317
繰延ヘッジ損益	594	70
退職給付に係る調整累計額	127,711	116,766
その他の包括利益累計額合計	1,492,377	1,596,154
純資産合計	37,030,332	36,758,700
負債純資産合計	60,046,300	58,359,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	21,050,792	21,921,987
売上原価	18,203,059	18,925,133
売上総利益	2,847,733	2,996,854
販売費及び一般管理費	2,475,520	2,638,443
営業利益	372,212	358,410
営業外収益		
受取利息	2,013	1,165
受取配当金	23,513	26,887
仕入割引	126,393	125,919
受取賃貸料	6,525	9,540
その他	6,817	3,872
営業外収益合計	165,263	167,385
営業外費用		
支払利息	219	179
売上割引	73,851	73,280
賃貸収入原価	572	310
その他	17,532	11,592
営業外費用合計	92,175	85,362
経常利益	445,300	440,433
特別利益		
有形固定資産売却益	32,669	—
投資有価証券売却益	—	7,142
特別利益合計	32,669	7,142
特別損失		
固定資産撤去費用引当金繰入額	—	28,000
投資有価証券評価損	1,895	—
特別損失合計	1,895	28,000
税金等調整前四半期純利益	476,074	419,575
法人税、住民税及び事業税	214,715	245,723
法人税等調整額	△33,373	△81,617
法人税等合計	181,342	164,106
四半期純利益	294,732	255,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	294,732	255,469

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	294,732	255,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131,439	115,246
繰延ヘッジ損益	1,277	△523
退職給付に係る調整額	△4,690	△10,945
その他の包括利益合計	△134,852	103,777
四半期包括利益	159,879	359,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,879	359,246
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社(株)ジーネットの名古屋支社及び名流センターの建替え計画を決定したため、耐用年数を取り壊し予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。これにより、従来
の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ
53,460千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,864,699	3,586,618	6,599,474	21,050,792	—	21,050,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	630,183	94,135	8,463	732,782	△732,782	—
計	11,494,882	3,680,754	6,607,938	21,783,575	△732,782	21,050,792
セグメント利益	194,302	42,274	130,239	366,816	5,396	372,212

(注)① セグメント利益の調整額5,396千円には、セグメント間取引消去28,587千円、たな卸資産の調整額△3,638千円、固定資産の調整額△19,552千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,212,259	3,586,719	7,123,008	21,921,987	—	21,921,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	243,430	82,138	1,897	327,465	△327,465	—
計	11,455,689	3,668,857	7,124,906	22,249,453	△327,465	21,921,987
セグメント利益	130,874	17,214	224,636	372,724	△14,313	358,410

(注)① セグメント利益の調整額△14,313千円には、セグメント間取引消去△11,873千円、たな卸資産の調整額△3,039千円、固定資産の調整額598千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。